

精神科看護師の365日

平成25年度の日精看のテーマ「365」にちなみ、全国のさまざまな施設で働く精神科看護師の日常を紹介します。

file.2

若手ナースの1日

公益財団法人浅香山病院 鯉田伸男さん(25歳・精神科看護歴2年)の場合



精神科看護師になったきっかけ

2年前の精神看護学実習で、実際に精神科看護の現場に触れたのがきっかけです。アルツハイマー型認知症の患者さんを受けもち、症状やご家族との関係に苦しむ姿を目のあたりにし、力になっていきたいと強く感じました。同じ時期に、大学の实習で統合失調症の幻聴を疑似体験する機会があり、それまで自分自身が患者さんに対して抱いていた誤解や先入観を深く省み、「精神科の患者さんが地域で生活しやすいサポートをしたい」と考えたことも精神科入職の動機になりました。

現在の仕事内容

50床の救急病棟に配属され、勤務しはじめて2年目です。受けもちの患者さんは3~4人です。1日に3人ほど入院があり、入院が重なる日は、じっくり腰を落ち着けて記録する時間がなかなかとれないほど忙しく動きまわっています。

やりがいや励みになること

入院当初は食事のままならなかった患者さんが、日に日に回復され、看護師の名前を覚えて呼んでくださったり、自宅に帰れるまでになったりするプロセスに伴走させていただくなかで、その変化に心を動かされます。患者さんと深くかかわるほど患者さんから教えていただくことも多く、「鯉田さんは、笑顔がいいね」「話を聞いてくれてうれしかった」など言葉をかけていただけると、とても励みになります。

鯉田さんの

ある日のスケジュール

- 8:30 出勤、朝礼、カルテからの情報収集、検温、デイケア送迎など
- 9:30 入浴介助(順次)
- 10:00 カンファレンス、他科受診の付き添い、投薬・処置、カルテ記帳など
- 11:40 食事介助・配薬
- 12:30 休憩
- 13:30 他科受診の付き添い、投薬・処置、入院の手続き(順次)
- 15:00 外出や買い物の付き添い、カルテ記帳、オリエンテーション(週に1回)など
- 17:00 退勤

今後の目標

忙しいことを言い訳にせず、もっともっと患者さんとコミュニケーションを深め、信頼関係を築いていきたいです。「今日はあの患者さんとじっくり話そう」などと意識しながら、積極的にかかわっていこうと思います。精神科看護師の役割は、患者さんが退院後も長期的に安定した生活を送れる手助けをすることだと考えています。これから経験を積み、患者さんやご家族全員が笑顔で社会生活を送れるようになるためのサポートができる看護師になれるよう努力していきたいです。